

向陽高校進路便り 第38号 平成29年7月4日(火) ~覇天昇界~ 2 2 期生センター試験まで 193!

進路調査で「先生方の母校の様子が知りたい!」というワガママさんが居ましたのでアンケートを実施! 第1回目は、偶然にも全員既に学部学科が統合・廃過程になった涙目のお三方です。

数学 島袋 智識先生

琉球大学教育学部生涯教育課程情報教育コース (今はもうありませぬ (T.T))

O先生の母校について、特色・いいところ・オススメポイントを教えて下さい。

- ・琉球大学は『法文・観光産業・教育・理学・工学・医学・農学』が設置されている総合大学です。
- ゆえに、県内外から様々な能力を持った学生が集まり、共通科目の授業では色々な出会いがあります。特にサークルや部活動に所属するとこれが実感できます。
- ・立地的にも沖縄の各所に行きやすく、大学の仲間達とのドライブはまた格別なものです。
- ・総合大学の強みは、授業にあります。自由科目あるいは選択科目として例えば私は数学科の授業をとったり、工学部の 授業をとったりと、**自分の興味のある授業を片っ端から受けていました**。
- ・沖縄の国立大学ということで、やはり沖縄をテーマ、課題とする授業も数多く、将来沖縄で働くつもりだった私にとっては毎日がとても充実した大学生活でした。
- Q先生の母校で後悔していることはありますか。
- ·**卒業論文を書けば良かった**。私の学科は『卒業研究』ということで、論文が必要のないゼミがあり、何も考えずに目先の苦から逃げるためにそのゼミに参加しました。なので、今となっては『大学で何を残してきたか』と問われると、答えようがありません。せっかく大学に行くのであれば、論文は書こう!
- ・私は大学3年次終了の時点で取得単位が158単位あり、あとは卒業研究のみ取得すれば卒業できました。そこでおごりと怠け癖が出てしまい、4年次では授業を一つもとることなく、毎日だらだらと過ごすだけでした。今思えばこの期間で留学や資格取得など**今後の人生にとってプラスになる行動をしておけばよかった**です・・・・。
- Q教師になっていなかったら、何になっていたと思いますか。

情報教育コースということで・・・

- ·SE(教育支援システム開発、デジタル教材開発)
- ·大学院にすすんで教育行政 or 教育方法論を履修し、博士課程へ(研究者)
- ・転勤がイヤなので、市役所職員、私立大学事務職員、教員養成予備校講師

国語 福田 園子先生

琉球大学教育学部生涯教育課程日本語教育コース(もうなくなりました 涙)

Q先生の母校について、特色・いいところ・オススメポイントを教えて下さい。

共通科目で、沖縄のことを学べる授業「ウチナーグチ入門」や「琉歌」があり、**県外出身者だけではなく沖縄人でも勉強になった**。また英語で沖縄を紹介させる授業もあり、大学をあげて観光を意識したカリキュラムかと思います。琉大の図書館は資料の蔵書量が半端ない。夜 10 時まで OPENしてます。テスト前には夕飯食べたあと戻って勉強&レポートする学生多数。総合大学なので、東南アジア系のヒジャブかぶってる留学生の女性や、工学部の作業服集団まで、多様なひととすれ違います。県外出身者も一定数いるので、沖縄にいながらにして交友関係は広がりましたよ。大学のアホな友人たちとの会話は「暇だな~辺戸行く?」でした。あと「お腹すいたな~奥武島(天ぷら)行く?」も。ガソリンの安い、古き良き時代のお話。



Q先生の母校で後悔していることはありますか。

2 年生終了した時点で 100 単位越えてたし、ボランティア(JICA 関係とか)もしたし、アルバ仆(ブティック店員とか着ぐるみとか警備員とか)もしたし、サークル(バンド)もやったので、大きな後悔は特にない。総合大学の強みで、工学部や理学部や法文学部のゼミに潜り込んで、「あんた誰?」的な視線を受けながら専門以外もいっぱい学べました。でも、**やっぱり県外に出てみても良かったかなー**と思ったりします。専門の先生や見られる資料・研究、博物館や文化施設(歌舞伎、能狂言、落語など含めて)等、沖縄に居てはなかなかアクセスできなかったので・・・。(私は卒論で日本文学を研究したので、江戸文化を体感できない僻地の環境を痛感しました。琉球関係なら琉大は専門家いっぱいいます)

Q教師になっていなかったら、何になっていたと思いますか。

教員に成る前に雑誌の編集部に居ましたので、新聞やTVなどのマスコミ関係に希望していたと思います。あとは当初の目標通り日本語教師。大学で言葉について学んだので、それを活用できるところへ行っていたことでしょう。

地歴 城間 みなみ先生

大阪外国語大学 外国語学部国際文化学科国際関係コース

Q先生の母校について、特色・いいところ・オススメポイントを教えて下さい。

卒業の翌年に大阪大学外国語学部となりました…(泣)ので、現・大阪大学外国語学部について…。 国立の総合大学としては唯一の外国語学部。海外の119大学と短期交換留学&世界25言語の

専攻語!その他、アイヌ語やエスペラント語(人工語です)、サンスクリット語などなど地域諸語も数多く

学べます。ということで、各地域・言語に傾倒したユニークな人たちで溢れるキャンパスです。あ、あと日本語専攻もありますよ。男女比3:7!男子はパラダイスかも~♥

Q先生の母校で後悔していることはありますか。

大学が、というより、自分ができなかったことについての後悔はあります。それは、「県外に出る」ということについての覚悟 が足りていなかったこと。奨学金+アルバ仆で生活費をまかなっていましたが、部活とバ仆と勉強のバランスがうまくとれないまま、ジレンマにさいなまれつつ、4年間を過ごしてしまいました。勉強に対する言い訳ですね。結果としてどれも中途半端になってしまったことは、やはり覚悟が足りなかったということかなと思ってます。また、そもそも受験の時に国際系をひと〈〈りにしてて、詳し〈調べていませんでした。東京外大と大阪外大を迷ったときに国際関係学ができるのは大阪の方だ!と決めましたが、実際に行っている友人に聞〈と東京外大でも同じことが学べたりして。都会の方がバ仆も選べるし・・・。学科の名称だけで選ぶと入学後にこんなズレが出てきますね。

Q教師になっていなかったら、何になっていたと思いますか。

ジュンク堂職員とドイツで靴職人に成ってみたかったな・・・(大学関係なし!)**在外公館派遣員やジェトロ(日本貿易振興機構)は憧れ**でした。あとは、海外支社を持つ商社にも憧れていました。または観光産業関連の職にも就いていたかも。

いかがでしたか?

普段教卓で優しく(?)教えてくれる先生方にも、紆余曲折ある大学選びとキャンパスライフがあったのだなと感じて貰えたら幸いです。ただし、今回紹介した大学はもとより、これから掲載していく先生方の母校は、十○年(ひとによったら○十年・・・)前のお話。学部改編してすっかり変わってしまったり、どこかと統合したり独立したり・・・。そうでなくとも、大学はより社会とつながっているので、社会・国際情勢を反映してめまぐるしく変わります。「自分の学びたいことはこの大学!」と早合点せずに、興味を持った学問分野や大学があったら、まず現在の大学を調べましょう。先生方の「後悔」の二の舞にならないように・・・。

